

## 次期計画の方向性について

### 1 計画名

「(仮称)まちだユニバーサル社会推進計画(第3次町田市福祉のまちづくり推進計画)」

### 2 計画目的

この計画は、ユニバーサル社会<sup>※</sup>の実現に向けた諸施策を総合的かつ一体的に推進することにより、安全で安心して快適に住み続けることができる地域社会の構築や、そのための環境の整備を目指すものです。

※ ユニバーサル社会とは、障がいの有無、年齢等にかかわらず、一人一人が社会の対等な構成員として、その尊厳が重んぜられるとともに、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会の確保を通じてその能力を十分に発揮し、もって一人一人が相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する社会をいいます。

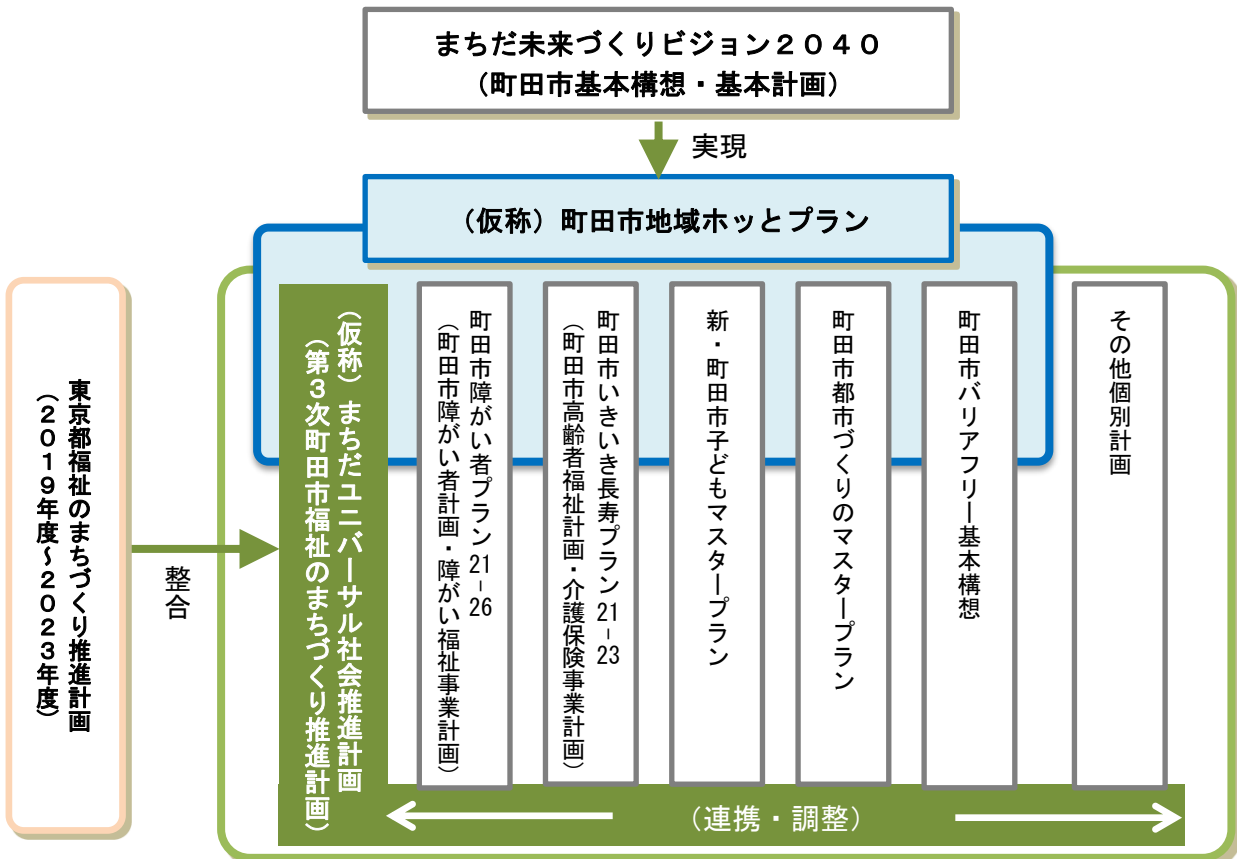
### 3 計画期間

2022年度から2026年度(5カ年計画)

### 4 位置付け

○町田市福祉のまちづくり総合推進条例第25条に基づく推進計画です。

○上位計画である「まちだ未来づくりビジョン2040(町田市基本構想・基本計画)」、「(仮称)町田市地域ホッとプラン」に基づき、関連する個別計画と連携、調整を図ります。また、東京都の「福祉のまちづくり推進計画」と整合を図ります。



## 5 次期計画の方向性

2017年度から2021年度で、29の推進事業の進捗管理、自己評価における評価情報の蓄積を行うとともに、事業の実施に当たり、関係者等との連携や、広報・PR、工夫・改善などは概ね高い割合で実施され、実施目標の達成に向けて事業を進めてきました。

近年の社会動向としては、バリアフリー法の改正により、ハード・ソフトの一体的な取組の推進や、「心のバリアフリー」に係る施策などソフト対策の強化が求められています。

また、新たに制定されたユニバーサル社会実現推進法では、地方公共団体の責務として、ユニバーサル社会の実現に関し、国との連携を図りつつ、その地域の特性に応じたユニバーサル社会の実現に向けた諸施策を総合的かつ一体的に推進することが規定されました。

これらを踏まえ、ユニバーサル社会の実現に向けて、施設整備等（ハード）と心・情報（ソフト）の事業相互の連携を意識し、総合的かつ一体的な取組への展開を図る必要があります。

第1次計画から「みんなで取り組む」「継続して進める」を方向性に掲げ、ユニバーサルデザインの視点に基づき事業を推進していますが、市・市民（団体）・事業者・関係機関等の「みんなで取り組む」まちづくりを念頭に、関連する個別計画と連携、調整を図りながら次期計画の策定の検討を進めます。また、「継続して進める」ため、引き続き事業の継続的改善（スパイラルアップ）に取り組むものとし、「ユニバーサル社会」の実現に向けた推進を図る計画を検討します。

## 6 策定に向けたスケジュール

今回の協議会を含め、今年度及び次年度で協議会を4回開催する予定です。協議会による現行計画の外部評価やパブリックコメントなどを実施するとともに、委員の御意見を踏まえながら、計画策定を進めます。

日付	内容	備考
2020年1月 ＜第10期＞ 第2回協議会	・第2次計画の延長について	実施済み
2020年7月 ＜第10期＞ 第3回協議会	・アンケート調査について	実施済み
2021年1月 ＜第10期＞ 第4回協議会	・町田市福祉のまちづくり総合推進条例施行規則の改正 ・アンケート結果の報告 ・外部評価の概要について	実施済み
2021年11月 ＜第11期＞ 第1回協議会	・委員委嘱 ・第2次計画外部評価について ・次期計画の方向性について	
2022年3月予定 ＜第11期＞ 第2回協議会	・諮問 ・策定の方向性について	
2022年5月予定 ＜第11期＞ 第3回協議会	・計画素案について	
2022年10月予定 ＜第11期＞ 第4回協議会	・計画案について ・パブリックコメントの報告 ・答申	
2022年12月予定	計画策定	